

市町村名		恩納村					
令和元年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	万座毛周辺活性化施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	建設課・商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24～令和2年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	<p>沖縄県を訪れる観光客の2割が訪れる万座毛について、本村を代表する観光地であるが、沖縄県全体の入域観光客数は増加しているにも関わらず、当該地を訪れる観光客は減少している状況にある。</p> <p>そのため休憩所や地域の特産品販売所、展望台等の機能を有した観光拠点施設及び駐車場を整備することで更なる来訪観光客増加を図り、本村の主要産業である観光業の振興や地域の活性化を図ることを目的とする。</p>						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H30年度(繰越)	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R3年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	627,015	846,100	845,893		
		(b) 予算現額	627,015	845,893	845,893		
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 207	0	0	0
		(d) 繰越額	-	-	-		
	A. 計(b+d)		627,015	845,893	845,893	0	0
	B. 執行済額		627,015	0	845,893		
	うち交付金充当額		496,096	496,096	496,096		
	次年度繰越額		0	845,893	0		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	0.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		全国的な技術者の不足等の要因から、技術者を確保するための工期の見直しに不測の日数を要したため、年度内の完了が困難となったため、工事費にかかる845,893千円を令和2年度に繰越した。 関係者と調整し、資材の一部を変更し繰越工期内の執行に努めた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	駐車場整備工事の実施(面積:16,744㎡)		目標 ( 工事の実施 )	( )	( )	( )	
			実績	工事の完了			
	観光拠点施設の建築及び外構工事の実施(建築面積:1,963㎡)		目標 ( 建築工事・外構工事の実施 )	( 建築工事・外構工事の実施 )	( 建築工事・外構工事の実施 )	( )	
		実績	建築工事の実施	建築工事の実施	建築工事・外構工事の完成		
達成状況説明	入札不調による設計図書を見直し工事に着手、工期が大幅に遅れてたが令和2年9月に完成できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R4年度)
	H30建築工事の進捗10%		目標 ( )	( 建築工事の進捗10% )	( 工事の実施 )	( )	( )
			実績	進捗2%	工事の完成		
	R1建築工事の進捗90%		目標 ( )	( )	( 工事の実施 )	( 工事の実施 )	( )
			実績		工事の完成	工事の完成	
	外構工事		目標 ( )	( )	( 工事の実施 )	( 工事の実施 )	( )
			実績		工事の実施	工事の完成	
【R4成果目標】施設の年間利用者数102万人		目標 ( )	( )	( )	( 102万人 )	( 102万人 )	
		実績			20万人		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>入札不調により着手が遅れた影響で、工期に大幅な見直しが必要になったが、令和2年9月に完成できた。</li> <li>令和2年度(供用開始:令和2年10月2日～令和3年3月31日)の利用者数は199,211人であった。成果目標に対し実績が比率的に達していないが、上記理由から施設供用開始が遅れたことにより、令和2年10月から令和3年3月末までの6か月間のみの利用者数集計となったことに加え新型コロナウイルス感染症により「R2年沖縄県入域観光客数」が72.7%減少していることから、本来の事業効果が発現できなかったと考える。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の流行が終息し、沖縄県入域観光客数が増加に転じると見込まれる令和4年度に、再度成果の検証を実施する。</li> </ul>						

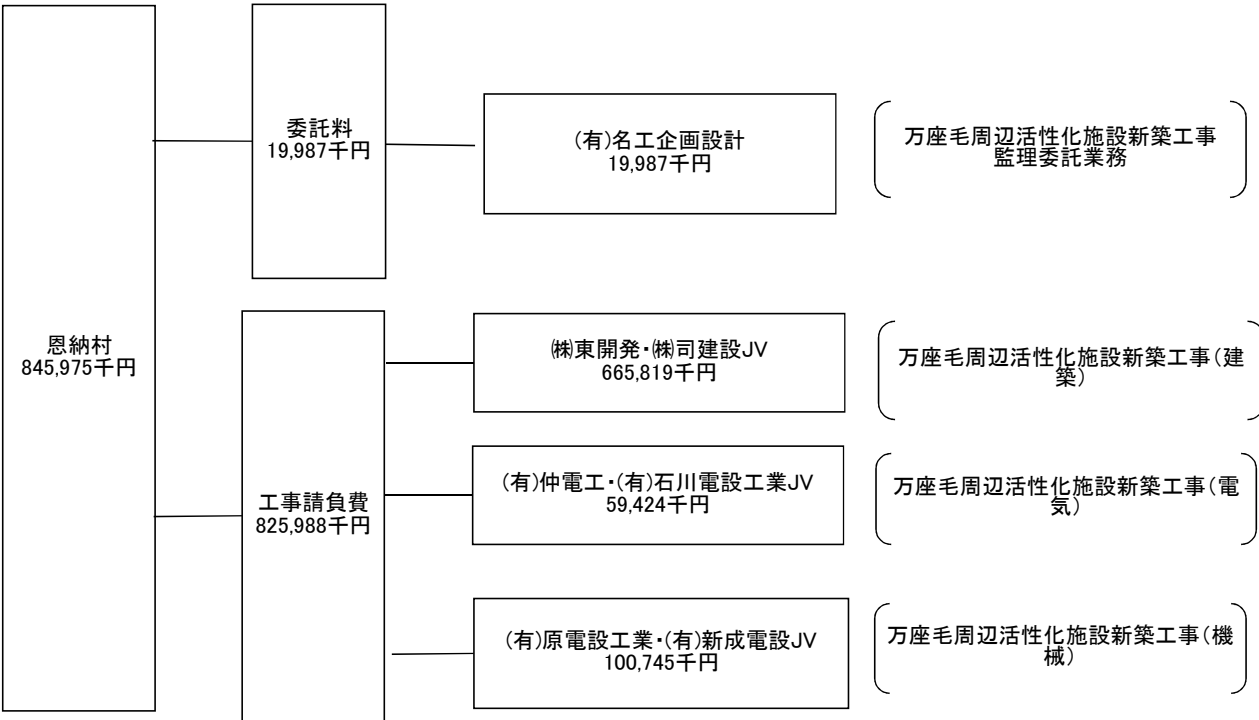
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入札不調により大幅に着手が遅れた。また、全国的に建設資材の納期遅延が発生、工期を見直し完成した。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症等の影響により、本来の事業効果が発現できなかったと考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工期が大幅に遅れたことにより、建設資材の変更など臨機に対応して、工期の遅れを最小限に抑えることができたが課題が残った。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・令和2年10月にグランドオープンしたが、新型コロナでの自粛の影響で観光客が激減していることから、自粛明けから積極的なプロモーション活動を行う。
- ・新型コロナウイルス感染症の対策を徹底し安心安全な観光施設としてPRする。
- ・新型コロナウイルス感染症の流行が終息後に成果の検証を実施する。
- ・リピーター率等を検証するため、今後施設来訪観光客の満足度を調査することを検討する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
845,893	779,931	517,183	262,748	65,961



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は概ね適正であったと考える。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	恩納村
------	-----

**令和元年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	1-④	あしびなー施設整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度 平成29～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備
				Ⅲ-1-(1)

**事業内容**  
地域の伝統芸能を保存継承し、それらを活かした体験学習を提供する場を整備することにより、観光誘客を図る。

**効果発現年度**  
 当年度       後年度(4年度)

**実施方法**  
 直接実施     委託     補助     負担     その他 ( )

		H30年度	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R3年度	
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	10,912	18,931	22,890		
		(b) 予算現額	10,912	18,931	5,751		
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	▲ 17,139	0	
		(d) 繰越額	0	22,890	0		
		A. 計 (b+d)	10,912	41,821	5,751	0	
		B. 執行済額	8,714	18,868	5,751		
		うち交付金充当額	6,971	15,094	4,600		
		次年度繰越額		22,890	0		
		執行率 (%) (B/A)	79.9%	45.1%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!
		予算の状況の説明	難航していた用地交渉がまとまり契約できた。				

活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況			
		R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R3年度
		建築実施設計の実施	目標 ( 実施設計の実施 )	( )	( )
	実績	実施設計の完了			
用地取得	目標 ( 用地取得 )	( 用地取得 )	( )	( )	
	実績	繰越	用地取得完了		
達成状況説明	難航していた用地交渉がまとまり契約できた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R1年度(繰越)	目標値(R4年度)
		建築実施設計の実施	目標 ( )	( )	( 設計完了 )	( )
		実績			完了	
	用地取得	目標 ( )	( )	( 用地取得 )	( 用地取得 )	( )
		実績			繰越	完了
【R4成果目標】	目標 ( )	( )	( )	( )	( 1680人以上 )	
	実績					

**進捗状況説明**  
R1年度に実施予定だった用地取得が難航し完了できなかったが、繰越をして交渉がまとまり契約することができた。建築基本設計と建築実施設計を同年に実施できなかったこと、用地交渉の難航により当初より2年の遅れになり、供用開始予定が令和4年度となった。このため効果発現の時期を令和4年度に変更している。

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・令和元年度に建築実施設計と用地取得を完了する予定であったが、用地交渉に時間を要したため、用地取得が行えておらず建築実施設計のみの完了となった。そのため、工事の着手も当初の予定より大幅に遅れている。</p> <p>また、起業地が住宅密集地に存し、住宅等に隣接しているため、騒音や振動等、工事による影響が周辺住民に及び、生活環境が損なわれる懸念がある。</p> <p>さらに、起業地に隣接する道路は生活道であり頻繁に周辺住民の往来があるため、崩落や落下物による事故等が起きないように細心の注意を払う必要がある。</p>	<p>・建設用地及び工事用地が確保できたので、速やかに工事に着手する。</p> <p>・近隣住宅への振動による影響、隣接する生活道の崩落など住宅密集地であるがゆえに懸念される様々な周辺への生活環境への影響を検討し、その発生防止及び軽減に努める。</p>

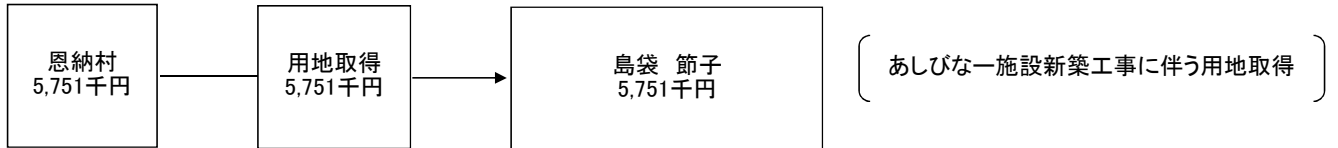
**今後の取り組み方針**

・用地取得の遅れによる工事の着手が当初より遅れたが、工程管理を適正に行いながら、安全に進むように注意する。

・起業地は住宅密集地であり、利用する道路は生活道なので、周辺住宅や道路に工事による影響が出ないように細心の注意を払いながら進める。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,751	5,751	4,600	1,151	



資金の用途の流れ、費目・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○用地は施設整備に必要な最小限で、土地所有者本人と契約している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○土地評価鑑定に基づき算定している。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・用途については精算の際に検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。